

お元気ですか😊 笑ってますか😊

お正月

Contents

- P2 代表 年頭挨拶／ロゴデザイン紹介
- P3 健康イベント／なごや介護の日フェア
- P4 医療用BMIを導入！／芋掘りイベント／鬼饅頭作り
- P5 老健秋祭り／老健紅葉狩り／水槽リニューアル
- P6 社福秋まつり／
南区北部いきいき支援センター
ふれあいランチ
- P7 管理栄養士の
「いきいきレシピ」
- P8 善常会 事業案内



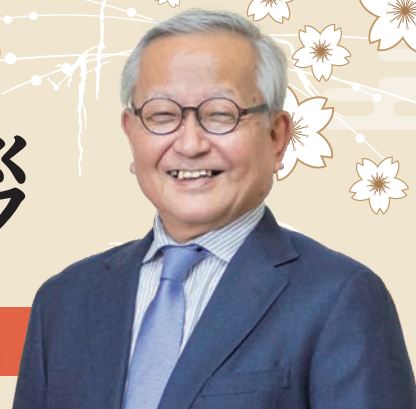
作：棚垣様



作：早川様

年頭挨拶

善常会グループ代表 岡田 温



新年あけましておめでとうございます。平素より、善常会グループの事業に対し、格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、医療法人財団善常会は2026年、創立75周年という節目を迎えます。これまで地域の医療・介護・福祉の一翼を担い続けてこられましたのは、地域の皆様をはじめ、多くの関係機関の皆様の温かいご支援とご協力の賜物であり、改めて厚く感謝申し上げます。そして本年は、100周年に向けた新たなスタートの年として、医療法人財団善常会および社会福祉法人善常会が一体となり、次の時代を見据えた取り組みを進めてまいります。

事業面では、医療・介護保険制度の変化に的確に対応するとともに、DXの推進による業務の効率化とサービスの質向上に努めてまいります。7月には病院と老人保健施設の通所リハビリテーションを統合し、「善常会リハケアプラザ」として生まれ変わる予定です。通所リハビリテーション機能の再編・強化など、善常会グループの強みを活かした体制整備を進め、皆様に愛される事業所を目指してまいります。

また、社会福祉法人善常会においては、4月1日に「オレンジタウン笠寺」が開設10周年を迎えます。これからも住み慣れた地域で暮らす皆となれるよう職員一同精進してまいります。

私たちは、「住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくり」というグループビジョンのもと、地域に根ざし、信頼される法人であり続けることを使命としております。今後も皆様との連携を大切にしながら、地域社会に貢献できるよう全力で取り組んでまいります。

2026年が皆様にとって輝かしい一年となりますことを祈念し、年頭のあいさつとさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

岡田 温

善常会のロゴデザインが新しくなりました



善常会グループ



医療法人財団善常会



社会福祉法人善常会

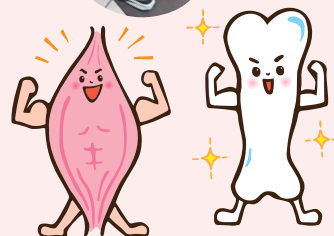
このたび善常会グループは、事業所ごとのロゴデザインを新しく制定いたしました。

「私たちは住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりを目指します」というビジョンを改めて見つめ直し、親しみやすく優しい印象で、「安心」「信頼」「誠実」を感じていただけるデザインに仕上げました。

新しいシンボルとともに、職員一同、より質の高い医療とサービスの提供に努めてまいります。

JCHO中京病院共催 健康イベント

あなたの骨は密ですか？ あなたは貯筋してますか？



2025年10月5日(日)イオンモール新瑞橋にて、「あなたの骨は密ですか？あなたは貯筋してますか？」というテーマでJCHO中京病院様と健康イベントを開催しました。

当日は751名という大変多くの方にお立ち寄りいただき、骨密度測定や転倒リスク評価など、様々なコーナーに参加していただきました。

今回のイベントで握力、骨密度など、ご自身の体の状態を知っていただき、立ち上がりテストや輪投げ、○×クイズなどで盛り上がり、大変ご好評をいただきました。

ご参加くださった皆さん、ありがとうございました！



なごや介護の日フェア

2025年11月8日(土)、久屋大通公園エンゼル広場にて開催された『なごや介護の日フェア2025』に、「食べて発見！やわらかおやつ体験」というブースを出展しました。

握力測定ややわらかおやつ作りを体験していただくコーナーを設け、400名を超える大変多くの方々にご参加いただきました。

参加者の皆さんにも改めて“食”について考えていただく良い機会となり、スタッフ一同とても充実した一日となりました。

ご来場いただき、誠にありがとうございました！





医療用BMIを導入！ 院長による体験レポート

これまで、脳卒中などによる手指の重い麻痺は、リハを続けても回復が難しい領域の一つとされてきました。その「手指リハの常識」を変えるのが、今回当院が導入した最新機器「医療用BMI」です。

今回は、この医療用BMIを体験した院長にインタビューしました。

院長体験談

医療用BMIを使用して、想像以上に集中力を使う機器だと感じました。慣れないうちは何をしてもよく分からず集中も不十分ですが、「これでいいんだ」と運動イメージをつかめると集中力が高まり、その分疲労も出てきます。一方で、フィードバックによって「こうやると動く」という感覚が得られ、患者様ご自身が機械の反応を見ながら調整できる点は、この機器の大きな利点だと感じました。

今回の体験では指の動きをイメージしましたが、どのイメージが反応しやすいかは人によって異なりました。私自身も、最初は中指と薬指の間を意識していましたが、後半は薬指と小指の間の方が反応が良いと分かりました。こうした違いは脳の癖やこれまでの習慣によるもので、反応が弱いからといって病状が重いとは限らない点は重要です。

また、リハビリでは指一本ずつの動きを意識するよりも、複数の指や動作全体をイメージした方が脳が捉えやすく、自然な動きにつながる可能性が示唆されました。「良い動き」のイメージを先に作り、そこから指が動き出す方が理にかなっています。剣道の達人が無駄な力を使わず動作をイメージする感覚と、BMIが示す脳波の波形には共通点があるという指摘も印象的でした。

この医療用BMIは、これまで外からは分からなかった「脳がどうなっているか」をフィードバックできる点が画期的であり、患者と機器が互いに慣れていくことで、より鋭敏な反応と効果的なリハビリが期待できると感じました。

当院では、この新しい機器を通じて、患者様一人ひとりの特性に合わせたリハビリテーションを提供し、限界突破するまで機能回復をサポートしてまいります。



芋掘りイベント

11月14日(金)、毎年恒例の芋掘りイベントを行いました。

天候にも恵まれ、爽やかな晴天の下、利用者様・患者様と一緒に畑の土の感触を確かめながらゆっくりと収穫作業を楽しみました。

皆さんで収穫したさつまいもは後日利用者様・患者様に味わっていただく予定です。

これからも自然に触れあいながら行える活動を続けていきたいと思ひます。



鬼饅頭作り

12月19日(金)、畑で採れたさつまいもを使って鬼饅頭を作りました。

皆様には、生地を混ぜてシートへ載せる工程を楽しんでいただきました。

できあがった鬼饅頭は皆様に美味しくいただき、秋らしい楽しいひとときを過ごせました。





医療法人財団善常会

老人保健施設シルピス大磯

秋祭り

11月16日(日)に秋祭りを開催しました。



よさこい いっやあせ南都

鯨城学園ONBバンド



紅葉狩り

11月23日(日)、
呼続公園で
紅葉を楽しみました。



水槽のお魚リニューアル



1階ロビーに設置されている水槽のお魚が、淡水魚から色鮮やかな海水魚に変わりました。

入口すぐの場所に展示してありますので、皆様も是非鑑賞にいらしてください。



社福

秋まつり



11月2日(日)、特別養護老人ホームオレンジタウン笠寺とオレンジタウン笠寺IIで秋まつりを開催しました。

ゲストには熱田神楽保存会会長の石川来民造様と保存会の皆様をお招きし、祭囃子を披露していただきました。ご入居者参加型のステージでは、ご入居者が大きくバチを振りかぶって「ドン!ドン!」と力いっぱい叩かれ、とても生き生きとされていました。

また、今年は「絆と彩」をテーマに作品展も開催し、ご入居者と職員で制作した貼り絵を展示しました。どの作品も力作ぞろいで、秋まつりが華やかになりました。

祭り屋台では、ご入居者の皆様がたこ焼きや綿菓子等を召し上がりながら、「昔を思い出すね」「美味しいね」と笑顔で楽しまっている姿が印象的でした。

今年はご家族も参加していただくことができ、賑やかなお祭りとなりました。



ふれあいランチ



「ふれあいランチ」は、桜学区にお住まいのおひとり暮らしの高齢者の方々にしゃべりや交流を楽しんでいただくことを目的に民生委員の方が中心となって催している食事会です。定期的に桜コミュニティセンターで開催され、毎回15～20人ほどの方が参加されています。

この「ふれあいランチ」では、健康や生活に関する講座も催され、新しい情報を知る機会や学びの場にもなっています。今回の「ふれあいランチ」では、南区北部いきいき支援センターの社会福祉士による「物忘れが進むと、お金に関することが困難になります」がテーマの講座が開かれ、皆さん「近い将来、他人事ではなくなる」「近所で物忘れが進んでいる方で、支援者の方がいたので、成年後見制度の手続きされていたのかな」と、熱心に耳を傾けておられました。

講座後には民生委員の方から、おひとりずつにランチ(お弁当)を手渡ししながら、「次回もお元気にご参加下さいね」とお声掛けされていました。民生委員会長は、「コロナ禍以降、ランチはお持ち帰りとなりましたが、これからもおひとり暮らしの高齢者の方に地域で元気に過ごしていただけるように、応援を頑張っていきたい。」と熱い思いをお話してくださいました。

文責:南区北部いきいき支援センター



今回のテーマ

1月のごちそう 丹後ばら寿司



さばには栄養が豊富です！

- ◎カルシウム、ビタミンD が骨の健康に役立ちます。
- ◎さば缶1缶(約190g)あたりに約25～30g含まれている **たんぱく質** が筋肉を修復・維持します。
- ◎必須脂肪酸*の **DHA** や **EPA** が豊富に含まれているので、中性脂肪を減少させ、血液をサラサラに保つ効果があります。

※体内では作られないため、食事でおぎなう必要がある成分です。



丹後ばら寿司とは??

京都府北部の郷土料理の一つで、そぼろ状にしたさばと色とりどりの具材をのせるのが特長で、お正月・雛祭り・結婚式などの祝いの席やお盆・誕生会など人が集まるときの定番料理です。今回のレシピは缶詰のさばを丸ごと使用しているので、時短かつ骨ごと調理することができます。カルシウムとたんぱく質の両方摂りができる一品で骨粗鬆症の予防、筋力維持に役立ちます。既製品を取り入れ「混ぜるだけ」「散らすだけ」で簡単な、ハレの日のごちそうにいかがでしょうか。

作り方

- 1 米2合を洗い、炊飯器のすしの水量に合わせて炊飯する。
炊けたご飯にすし酢を入れ、切るように混ぜ合わせて冷ましておく。
- 2 さば缶は汁を含めず固形分を計量して、身をよくほぐす。
残った汁と一緒に鍋に入れ、中火で汁気がなくなるまで炒り混ぜる。
焦がさないように火加減に注意して炒り、水分が少なくなってきたら弱火にし、そぼろ状になったら冷ましておく。
- 3 少し深さのあるお皿やバット(押しずしの型)などに酢飯を半分の高さに敷き詰める。
- 4 3の上に2のそぼろをまんべんなく散らし、残りの酢飯を上に乗せ詰める。
- 5 4の上に2のそぼろと錦糸卵、いちょう切りにしたかまぼこ、紅生姜、グリーンピースを彩りよく散らして完成。

調理のポイント

- すし酢は市販の五目ちらしの素を使うと、野菜もプラスされ食べ応えがあり美味しいです。
- しいたけのうま煮や、錦糸卵は簡単に売っているものを使用していますが、作ってもOKです。
- 食べやすいように一人分をラップで包み、お弁当の一品として活用するのもおすすめです。

材料 (4人分)

ご飯(米2合)	300g
すし酢	100g
さばの醤油煮(缶詰)	160g
(固形分のみ)	
※汁も使用します	
しいたけのうま煮(市販品)	20g
錦糸卵(市販品)	20g
かまぼこ(赤)	20g
紅生姜(千切り)	10g
グリーンピースの水煮(缶詰)	10g

オレンジタウン笠寺・笠寺Ⅱ 管理栄養士

栄養量 (1人分)

エネルギー 377kcal たんぱく質 14.2g 脂質 6.1g 塩分 1.6g

医療法人財団善常会

回復期リハビリテーション病棟・総合リハビリテーション承認施設

善常会リハビリテーション病院 (95床)

 **0120-179-101**

〒457-0046 名古屋市南区松池町一丁目11番地 **MAP A**
TEL 052-811-9101(代) FAX 052-811-9390

診療科目 リハビリテーション科・内科・脳神経内科
サービス概要 外来診療・入院・訪問診療・
通所リハビリテーション・訪問リハビリテーション

老人保健施設 シルピス大磯 (103床)

 **0120-374-854**

〒457-0043 名古屋市南区戸部町3-55 **MAP B**
TEL 052-811-5553 FAX 052-811-9429

善常会 居宅介護支援事業所

 **0120-558-996**

〒457-0046 名古屋市南区松池町2-14 **MAP C**
TEL 052-811-9335 FAX 052-811-9362

訪問看護ステーション さくら

 **0120-834-390**

〒457-0046 名古屋市南区松池町2-14 **MAP C**
TEL 052-811-9356 FAX 052-811-9357

グリーン訪問看護けろっと

〒454-0032 名古屋市中川区荒江町7-10 **MAP D**
TEL 052-655-6020 FAX 052-655-6021

名古屋市南区北部いきいき支援センター

〒457-0005 名古屋市南区桜台一丁目1番25号 桜ビル1階 **MAP E**
TEL 052-811-9377 FAX 052-811-9387

名古屋市南区北部いきいき支援センター分室

〒457-0861 名古屋市南区明治二丁目32番14号 氷室AKマンション1階
TEL 052-698-7370 FAX 052-698-7380

名古屋市南部認定調査センター

〒457-0014 名古屋市南区呼続4丁目17-14 ウィズ呼続
TEL 052-824-6001 FAX 052-824-6002

社会福祉法人善常会

特別養護老人ホーム

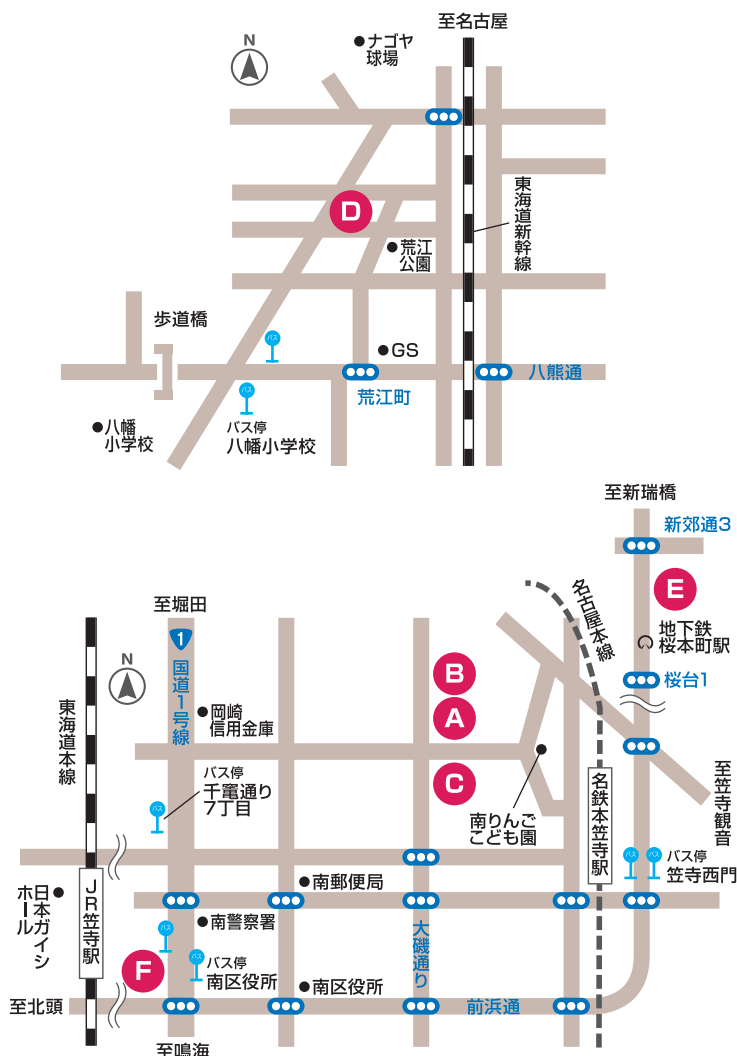
オレンジタウン笠寺 (80名)

〒457-0058 名古屋市南区前浜通2丁目1-2 **MAP F**
TEL 052-811-5585 FAX 052-811-5685

特別養護老人ホーム

オレンジタウン笠寺Ⅱ (80名)

〒457-0058 名古屋市南区前浜通2丁目1-3 **MAP F**
TEL 052-819-0550 FAX 052-819-0581



A B C の最寄駅・停留所

名鉄 本笠寺駅より徒歩5分
J R 笠寺駅より徒歩7分
市バス 千竈通り7丁目バス停より徒歩6分
笠寺西門バス停より徒歩6分
南区役所バス停より徒歩7分



このマークの5つのマルは、在宅ケア・施設ケア・通所ケア・地域社会を表し、中心のマルは患者・利用者を意味しています。グリーンは、やさしさ・思いやり・自然。ブルーは、技術・論理。オレンジは、温かさ・明るさ、そして認知症ケアを表現。地域ぐるみのコミュニティケアをシンボライズしたものです。

写真とイラストで見る 善常会のホームページ

<https://zenjokai.jp/>

